

水素還元スティック使用測定試験

(株)長野セラミックス 研究開発部

試験実施日：2018/01/18

【目的】

水素還元ボールとセラミックスをスティックに入れて使用し、経過時間浸漬後に対する溶存水素濃度の項目についての水を使用した水質変化を調査する。

【試料】

- ・水素還元スティック (水素還元ボール 19g, 遠赤外線ボール, ミネラルボール, マイナスイオンボール 各 1g)
- ・500mL 長野県営水

【測定機器】

- ・溶存水素濃度 溶存水素KM2100D H/溶存水素電極KH-10 (有)共栄電子研究所製

【測定方法】

水素スティックを 500mL のペットボトルに入れて長野県営水を 500mL 注ぎ込み、原水の水質測定実施後、蓋をして密封させたのち測定項目を経過時間で測定を行った。以下に結果を示す。

【測定結果】

表 1) 長野県営水使用条件 500mL 所定時間浸漬後の水質測定結果

経過時間[h]	溶存水素[ppb]
原水	0
1h	648 (0.648ppm)
2h	932 (0.932ppm)
3h	1102 (1.102ppm)

測定写真

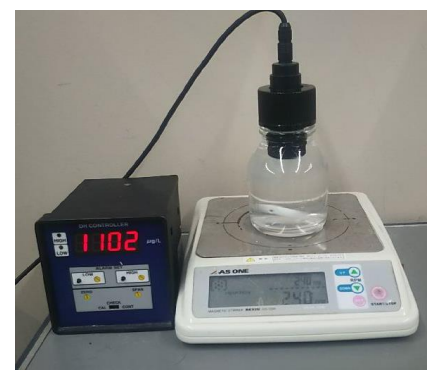
1h 経過後溶存水素測定値



2h 経過後溶存水素測定値



3h 経過後溶存水素測定値



以上